

平成21年度 第1回次世代育成協議会・部会 論点整理メモ

平成21年7月30日
新宿区子ども家庭部子ども家庭課

	論点	対応
1	「子どもの権利」に関連して、「子どもの義務」について議論する必要がある。	・子どもの権利についての議論の中で、意見を伺っていく。
2	学童クラブについて、サービスの量的拡大はしているが、委託化の推進により「継続して見守る」ことが難しくなっている。サービスの質の確保が大切ではないか。	・「学童クラブの充実」の中で、意見を伺っていく。
3	学童クラブと放課後子どもひろばについて、住み分け方や連携について検討する必要がある。	・子どもの放課後の過ごし方に多様な選択肢が増えたことを踏まえ、議論していく。
4	区内で子どもたちが犯罪被害者となるケースがどれくらいあるのか。見守りの必要性はどれくらいあるのか。PTAのパトロールなどが過剰になっていないか。	・子どもの犯罪被害状況について調べた結果、新宿区に限定したデータは無かった。
5	P6現状に対応する「主な課題と方向」について、その家庭・地域・学校などの役割ごとに分類・整理した方がよいのではないか。	・素案を作成する段階で、計画全体の構成の中で考慮する。
6	P8「特別な支援を要する子どもと家庭への支援」があるが、疾病や障害のある保護者等に対する支援の必要があるのではないか。	・保護者への支援は、区民一般への支援であり、新宿区総合計画、障害者計画等の個別計画の中に含まれるため、本計画では子どもとその家庭形態(ひとり親)に着目したい。
7	学校の現場(教職員など)に、協議・検討した内容をフィードバックしてほしい。	・部会に教育委員会の職員が出席する。
8	数値目標について、過大な目標で区が苦勞するのではないか。 区が高い目標を掲げることで、もっと踏み込んだ取組みに繋がっていくという効果が期待できる。	・「子育てしやすい」と回答した人の年収別の回答割合(資料2 P28)等を検討材料とし、議論を深めていく。
9	P8「子どもの虐待防止への取組み」の中に、「提言に沿った取組みの充実が求められている」とあるが、第2期の部会では、区民の役割ということを議論してきた。しかし、潜在的な区民の力を活用しきれていない現状がある。区民の役割や地域力の活用、区民の自主性を掘り起こす必要性を計画に明記すべきである。 身近なところに区民の活躍できる場があることも必要である。	・提言の「子育て支援の人材育成とネットワークづくり」の中でも、「支援したい人」を「支援できる人に」という提案がされており、今後、区民の力の活用について議論を深めていく。
10	後期計画では4つのビジョンを掲げているが、「安全・安心」は大切な項目なのでビジョンに入れるべきではないか。	・ビジョンは将来のまちの姿を描いたものであり、その根底には当然「安全・安心」が含まれていると考えている。 目標4に「安心できる子育て環境をつくります」を掲げ、「安全・安心」に取り組んでいく。